

倶知安農業高校3年の山崎花純さんが、インターンシップ（職業体験）として、倶知安町役場農林課に五日間の社会勉強を行いました。

農高生インターンシップ体験談

「インターン」として、倶知安町役場農林課を選んだ理由は何ですか？

山崎 農高では、3年生全員がインターンシップに参加します。ほかにもインターンシップ先に、町内の企業がありましたが、母親が役場に勤めており、母親の仕事にも興味があったので、役場を希望しました。



「実際に役場で働いてみて、どんなことがわかりましたか？」

山崎 業務自体、もちろん知らない事だらけで、実習に行く前は役場の人たちは事務作業ばかりかと思って

いました。でも実際は外に出る機会も多く、町の為に色々な仕事をしたリ、ほかの係の手伝いもして、数多くの仕事をこなしていることを知ることが出来ました。



「最後に何か一言あればどうぞ。」

山崎 私は高校卒業後、倶知安町役場への就職を希望していて、今回のインターンシップは、より一層この職場で働きたいと思える体験になりました。



図書室から図書館へ

町営の図書館の本の数が少なすぎてがっかりしました。

道立図書館より貸出しを受けるからいいという考えもあると思いますが、借りる前に手に取って中身を見てからでないと読みたい本かどうか、タイトルだけでは判断できません。

蔵書の充実を図って、図書室から図書館となるよう、よろしくお願いします。（匿名）



皆さんの声を広くお聴きし、町政に反映していくため、役場1階町民ホールに、「町民の声ご意見ポスト」を設けています。（紙面の都合上、一部内容を編集しています）

交付金の有効活用による蔵書と施設の充実へ

公民館図書室の蔵書数は現在約18,000冊です。

毎年150万円の予算で約1,000冊の図書を新たに購入していますが、リクエストの受付や話題書を揃えるなど、利用者のニーズに応えるよう努力しています。

また、今年度は国の交付金を活用し、年次予算とは別に300万円の予算で、蔵書の充実を図るとともに、スペースを有効活用するための展示用書架の購入を行い、蔵書展示の工夫を図って参ります。

今後、図書館設置に向けて町民の皆様の意見をお聞きして取組んで参りたいと考えております。